

平成20年度「専修学校を活用した再チャレンジ支援推進事業」成果報告書

事業名	情報処理の基礎を身に付け、組み系技術者を目指す「初心者からの組み系技術者養成講座」		
法人名	学校法人山口コア学園		
学校名	山口インフォメーション・カレッジ		
代表者	理事長 門田 章	担当者 連絡先	藤本 幸英 TEL(083)932-0118
<p>1. 事業の概要</p> <p>厚生労働省によると、情報処理技術者の求人倍率が3.68倍(2007.3)と発表されているように、情報処理技術者不足は顕著で、地元企業も求人に苦慮している。また、組み系技術者の不足も近年言われ続けており、地元産業振興のためにも組み系技術者の育成は必須である。そこで、地元企業(製造・IT関連)と連携し、ITの基礎的技術と組み系の基礎的技術を兼ね備えた人材育成のためのカリキュラムを研究し、キャリアカウンセリングを実施して、若年未就職者の早期就職・長期就労を実現する。</p> <p>2. 事業の評価に関する項目</p> <p>①目的・重点事項</p> <p>組み系システムはあらゆる製品に組み込まれ、付加価値の高い製品の開発に重要な技術となっており、山口県においても、組み系システムのニーズや重要性が増している。組み系システムに新たに関心を示す企業が増えてきており、IT企業への就職を希望する若者も増えている。しかし、組み系技術の未経験者にとってIT企業へチャレンジする道は極めて厳しいのが現状である。本事業は、地元企業(製造・IT関連)と連携し、企業が求める人材像を調査し、短期間で効率的に人材を育成する方法を研究することにより、若者の再チャレンジ事業としてのカリキュラム開発を目的とする。</p> <p>②事業により得られた成果</p> <p>検定試験については、受験者数が目標には満たなかったが、受験を希望した受講生は皆、試験対策に真剣に取り組んでいた。国家試験まで若干期間がある為、今後の健闘が期待される。受講生からは「初心者からにしては少しレベルが高い」との声が講座途中に聞こえてきた。これは事後アンケートの結果にも表れており、今後のカリキュラム作成に生かしていきたい。</p> <p>③今後の活用</p> <p>今回の講座は関係各所の支援が大きく、協力が得られて初めて実現した講座である。今後も地元企業との連携を強め、企業が求める人材を育成するカリキュラムとそのノウハウを蓄積し、若者の再チャレンジ支援事業を継続して実施するとともに、今回の事業の成果である短期間人材育成カリキュラムを本校3年課程コースに反映させ、地元企業に人材を提供する。また、組み系技術者の育成に関心をもつ他の専修学校にもこの成果を提供する。</p> <p>④次年度以降における課題・展開</p> <p>今回の事業成果から今後の課題、以下の将来構想へつなぐことを目標としたい。</p> <p>① 本事業を成功例として、他地域の他校へ展開を考える。(普及活動)</p> <p>② 再就職へ向けてのさらなるスキルアップ策の検討と、より実務に直結した実践力を養えるカリキュラムを作成する。</p> <p>③ 山口県情報産業協会をはじめ、地元企業と協力関係を築き、再就職へ繋げる。</p>			

3. 事業の実施に関する項目

①履修証明書等

月～金の週5日間、1日6時間で60日間、計360時間の講座とし、ITの基礎に続き、C言語・アルゴリズムと組み込み技術について学習する。また、就職に際しビジネスマナーやキャリアコンサルティングを実施し、ジョブカード制度に対する説明や修了証書の発行を行った。

②カリキュラムの内容

(1) 情報リテラシー

IT技術の基本的かつ普遍的な知識を習得し、ITパスポート試験(国家試験)の合格を目指す。

(2) C言語、アルゴリズム

C言語の文法、基礎知識及びプログラミングに必要なアルゴリズムの基礎を理解する。

(3) 組み込み技術基礎

組み込みシステム開発に従事するために必要な組み込み開発技術の基礎知識を習得し、JASA組み込みソフトウェア技術者試験(クラス2)の合格を目指す。

(4) 組み込みプログラミング演習

- ・レゴマインドストームを使用したロボット制御演習
- ・マイコンボード制御演習
- ・RTOS(μ ITRON)を使用したプログラミング演習

(5) ビジネスマナー、キャリアカウンセリング

- ・ヒューマンスキル及びコミュニケーション能力
- ・求職スキル(履歴書の書き方、職務経歴書の書き方、面接指導)
- ・キャリアコンサルタントによるキャリアカウンセリング 等

③講座の実施

実証講座は平成20年10月6日より平成21年1月16日までの60日間で、10人受講生により開始し、8名が修了。またプログラム終了後、希望者にはITパスポート試験(国)及びC言語検定2,3級、組み込みソフトウェア技術者試験(クラス2)の資格試験を受験させる。ITパスポート試験(国)については、講座修了後3カ月の期間がある為、eラーニングのコンテンツを開発し、受講生が自宅学習できるようにした。

④支援対象者(受講者)の状況

今回のこの事業では、ITパスポート試験対策、C言語・アルゴリズム、組み込み基礎、レゴマインドストーム・マイコンボード実習、リアルタイムOS、ビジネスマナー、キャリアカウンセリングを60日間と言う短い期間で実施した。ほとんどが初心者であったため、途中で辞退された方や、部分的に参加されない科目があったりと、若干初心者には厳しい内容であった。しかしながら、今まで体験したことのない世界を垣間見ることで、新しい可能性を見出された受講生も多かったと思われる。即戦力としての技術は培われなかったにしても、今後の健闘で組み込みエンジニアに限らず、IT技術者としての活躍が期待できる